

ルイス・フロイス学術講座・京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター主催  
後援：ポルトガル大使館／カモンイス院  
第24回ラテンアメリカ研究講座

## ルイス・フロイスとラテンアメリカの宣教師たち：イエズス会の布教とは何であったのか

日時：2024年12月14日（土）13：30～17：30  
会場：京都外国語大学 452教室

### <講座案内>

本年、京都外国語大学に「ルイス・フロイス学術講座」を設置されたことを機に、本研究講座では戦国時代に日本で布教活動を行ったイエズス会の宣教師であるルイス・フロイスの著書『日本史』から読み取ることのできる「布教」をテーマとし、布教の実態やその背景を探り、同時期にラテンアメリカで展開されたイエズス会の布教を比較する。

ラテンアメリカにおいては、歴史に翻弄された宣教師たちの営みに加え、布教された側の先住民にも注目し、彼らにとってキリスト教とは何であったのかを考察する。

日本、そしてラテンアメリカにおいて、イエズス会士たちのミッションは相応の成果を挙げ、その後、迫害を受けることになった。彼らのミッションが現代に生きる我々に何を残したのか、本講座ではその営みを振り返り考察することで、その一端を明らかにしたい。

なお、本講座では「イエズス会総長宛ルイス・フロイス自筆書簡」（原本）ほか、本学が所蔵するフロイスに関する貴重な資料の展示も併せて行う。

### <プログラム>

開会の辞（13:30）

基調講演（13:40～14:20）

- **呉座勇一（国際日本文化研究センター助教）**  
「ルイス・フロイス『日本史』を読みなおす」

発表（14:25-16:35）

- **住田育法（京都外国語大学名誉教授）**  
「ポルトガルのグローバルな宣教とブラジル」
- **モイゼス・カルヴァーリョ（京都外国語大学教授、IELAK 研究員）**  
「宣教から懐疑主義へーピダハン族と過ごしたダニエル・エヴェレットの経験」

休憩（20分）図書閲覧等

- **フェリッペ・モッタ（京都外国語大学専任講師、IELAK 研究員）**  
「宣教と国際移動ーイエズス会の事例から」
- **アイシュワリヤ・スガンディ（京都外国語大学准教授）**  
「イエズス会士による布教と異文化理解ー日本の贈答文化に焦点を当てて」

休憩（10分）

質疑応答を含むパネルディスカッション（16:45-17:30）

総司会 **伊藤秋仁（京都外国語大学教授、IELAK 研究員）**

閉会の辞（17：30）

## ＜発表要旨＞

### 「ルイス・フロイス『日本史』を読みなおす」

呉座勇一（国際日本文化研究センター助教）

ルイス・フロイスの『日本史』は、外国人から見た戦国時代の日本が生き活きと描かれた史料として重要視されてきました。しかし、あくまでキリスト教を布教するために来日した宣教師としての立場から著述された書物であることに留意し、同書を読みなおしていきます。

### 「ポルトガルのグローバルな宣教とブラジル」

住田育法（京都外国語大学名誉教授）

ポルトガルは1536年に異端審問所を開設し1821年まで続けました。1540年に創設されたイエズス会の許可でカモンイスの叙事詩『ウズ・ルジアダス』が1572年にリスボンで、『日葡辞書』が1603年に長崎で刊行されました。ブラジルと日本の布教の開始は奇しくも1549年でした。宣教をグローバルに論じます。

### 「宣教から懐疑主義へ—ピダハン族と過ごしたダニエル・エヴェレットの経験」

モイゼス・カルヴァーリョ（京都外国語大学教授、IELAK 研究員）

宣教師としてアマゾンに派遣されたダニエル・エヴェレットは、ピダハン族との出会いを通じて、自らの信念を大きく揺るがされることとなります。本発表では、ピダハン族の独特な文化や言語的特徴が、エヴェレットの個人的な変容にどのような影響を与えたかを探ります。

### 「宣教と国際移動—イエズス会の事例から」

フェリッペ・モッタ（京都外国語大学専任講師、IELAK 研究員）

イエズス会は、大航海を代表とする国際移動が活発になった時期に創立されました。本発表では、越境の観点からイエズス会士の活動の宗教的・文化的影響を取り上げ、彼らがどのように異文化交流を促進し、西洋的な教義や文明を伝播したかに着目します。

### 「イエズス会士による布教と異文化理解—日本の贈答文化に焦点を当てて」

アイシュワリヤ・スガンディ（京都外国語大学准教授）

本発表では巡察師アレッサンドロ・ヴァリニャーノが1581年に豊後で作成した「日本の習俗と形儀に関する注意と助言」（いわゆる「日本イエズス会士礼法指針」）とそれに対するルイス・フロイスの提案について考察します。またヴァリニャーノが第二次日本巡察前に推進した「中国遣使プロジェクト」と比較しながら、布教戦略における贈答の重要性とその地域・文化・時代についても言及します。